

美幌町スポーツ推進計画

スポーツで誰もが笑顔で元気に輝けるふるさと美幌町
～夢と活力を育てる生涯スポーツ社会の実現を目指して～

第1次（2024～2033）

美幌町教育委員会 令和6年5月

可能性を
探求する！



もっと
つながる！



共に
生きる！

はじめに

スポーツとは、世界共通の人類の文化であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で、必要不可欠なものとされています。

昨今は、情報化社会の進展、生活や働き方などライフスタイルの変化が生じていることからこうした状況への適切な対応が求められています。



本計画策定にあたっては、令和 4 年度に美幌町のスポーツ関係団体等から推薦を受けた 15 名により策定委員会が設置され、副題にある「スポーツで誰もが元気に輝けるふるさと美幌町」を基本理念として掲げました。これは、「全ての人がスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ることができるよう、スポーツの持つ可能性を探求しつつ、町民同士がつながりを持ち、美幌町で共に生きながら、まちづくりを進めていく必要がある」という思いから表記したものです。

今回策定する「美幌町スポーツ推進計画」は、スポーツに関する施策の総合的かつ、計画的な推進のための重要な計画と位置づけられており、町民の皆様が、スポーツを「する」「みる」「支える」というさまざまな立場で関わることを実現できるよう、取組を推進してまいります。

このたびの策定にあたりまして、美幌町スポーツ推進計画策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました町民の皆様、関係者、関係団体の方々に心より感謝申し上げますとともに、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 5 月

美幌町教育委員会

教育長 矢萩 浩

目 次

I	計画の策定にあたって	1
	1. 計画策定の趣旨・背景	
	2. 計画の位置づけ	
II	計画の基本的な考え方	5
	1. スポーツ推進のための基本理念	
	2. スポーツ推進の基本目標と方針	
	【目標1：スポーツの可能性を探求する！】	
	方針1）ライフステージ・ライフサイクルに応じたスポーツをする機会の充実	
	方針2）スポーツ活動団体への支援・連携の強化	
	【目標2：スポーツでもっとつながる！】	
	方針3）コミュニティの活性化・創造につながる施策の取り組み	
	方針4）スポーツに関する情報発信	
	【目標3：スポーツとともに生きる！】	
	方針5）地域資源を活かした持続可能なスポーツ環境の充実	
	方針6）今後の社会状況を見据えたスポーツの推進	
III	美幌町のスポーツ推進を取り巻く課題	8
	1. 美幌町の現状	
	（1）町の人口状況と見通し	
	（2）今後の美幌町の児童・生徒数	
	（3）高齢者人口の推移と高齢化率	
	（4）美幌町内小・中学校体力測定の様況	
	（5）美幌町のスポーツ施設一覧	
	（6）学校の部活動・地域クラブ活動への参加率	
	2. 美幌町の課題	

Ⅳ 課題解決に向けた目標・施策	14
1. 施策体系	
2. 3つの推進目標と施策	
Ⅴ 計画の推進	23
1. 計画の進行管理	
2. 計画の推進体制	
3. SDG s を踏まえた計画の推進	
資料編	26

1 計画策定の趣旨・背景

平成 23 年 6 月 24 日に、スポーツ基本法が公布され、文部科学省では、スポーツ基本法の規定に基づき、平成 24 年 3 月、「スポーツ基本計画」を策定、平成 27 年 10 月には、「スポーツ立国」の実現に向け、スポーツ庁を発足し、平成 29 年 3 月に「第 2 期スポーツ基本計画」を令和 4 年 3 月には「第 3 期スポーツ基本計画」を策定しました。

スポーツ庁は、市町村教育委員会において、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画に基づき、地方スポーツ推進計画の策定について、「市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画策定に努めること」とし、2024 年度（令和 6 年度）に計画策定実施割合を 20%とする目標を掲げています。

美幌町教育委員会では、平成 25 年度・26 年度の 2 か年にわたり、文部科学省委託事業であるスポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業に取り組み、運動・スポーツに関する町民アンケートの実施をはじめ、スポーツ政策研究協議会を開催し、専門の有識者及び地域住民を交え、将来における本町のスポーツ振興の在り方について、協議して参りました。これらの協議の結果を第 6 期美幌町総合計画（平成 28 年度～38 年度）や第 7 次美幌町社会教育中期計画（平成 28 年度～平成 33 年度）に「基本的な方策」として盛り込みスポーツ行政を推進してきました。

しかしながら、少子超高齢化や人口減少等の理由から、本町の取り巻く環境は急激に大きく変化し、またスポーツ実施率や子どもの体力が低下していることなど、多くの取り組むべき課題があります。

さらには、新型コロナウイルス感染症が広まり、世界的規模でパンデミックとなりました。世界経済、日本経済に多大な影響を及ぼし、人々の生活は一変し、日常生活を送ることすら困難な状況となり、学校の休校、イベント及び外出自粛等の要請が出されるなど、活動が制限される状況が続き、スポーツ活動においても、様々な競技大会、スポーツイベントの中止や延期をはじめ、開催規模の縮小、無観客での実施と、今まで経験したことのない対応を求められました。そのような状況の中、東京オリンピック・パラリンピックが一年延期で開催

され、スポーツの持つ価値・力を改めて感じ、世界に多くの感動を与えてくれました。令和5年5月には5類感染症に移行、世の中もウィズコロナ時代となり、感染症等の影響がある中で、町民の運動・スポーツに親しむ機会を創出するべく、予防対策を講じながら、活動の足を進めて参りました。

様々な課題を抱えながら、スポーツ活動の再開の兆しが見えてきた今、様々な課題に取り組み、計画的かつ実行的にスポーツ活動を推進していくために「美幌町スポーツ推進計画」を策定し、町民が、スポーツで誰もが笑顔で元気に輝けるまちの醸成を目指そうとするものです。

2 計画の位置づけ

(1) 計画策定の根拠

国の「スポーツ基本計画」や「北海道スポーツ推進計画」を参酌し、策定するものです。計画策定にあたり、「第6期美幌町総合計画」、「第8次美幌町社会教育中期計画」に対応するスポーツ分野の個別計画として位置づけ、町民のスポーツ活動の推進を、計画的かつ、実行的に進めるための計画とします。

○スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第10条・・・教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。

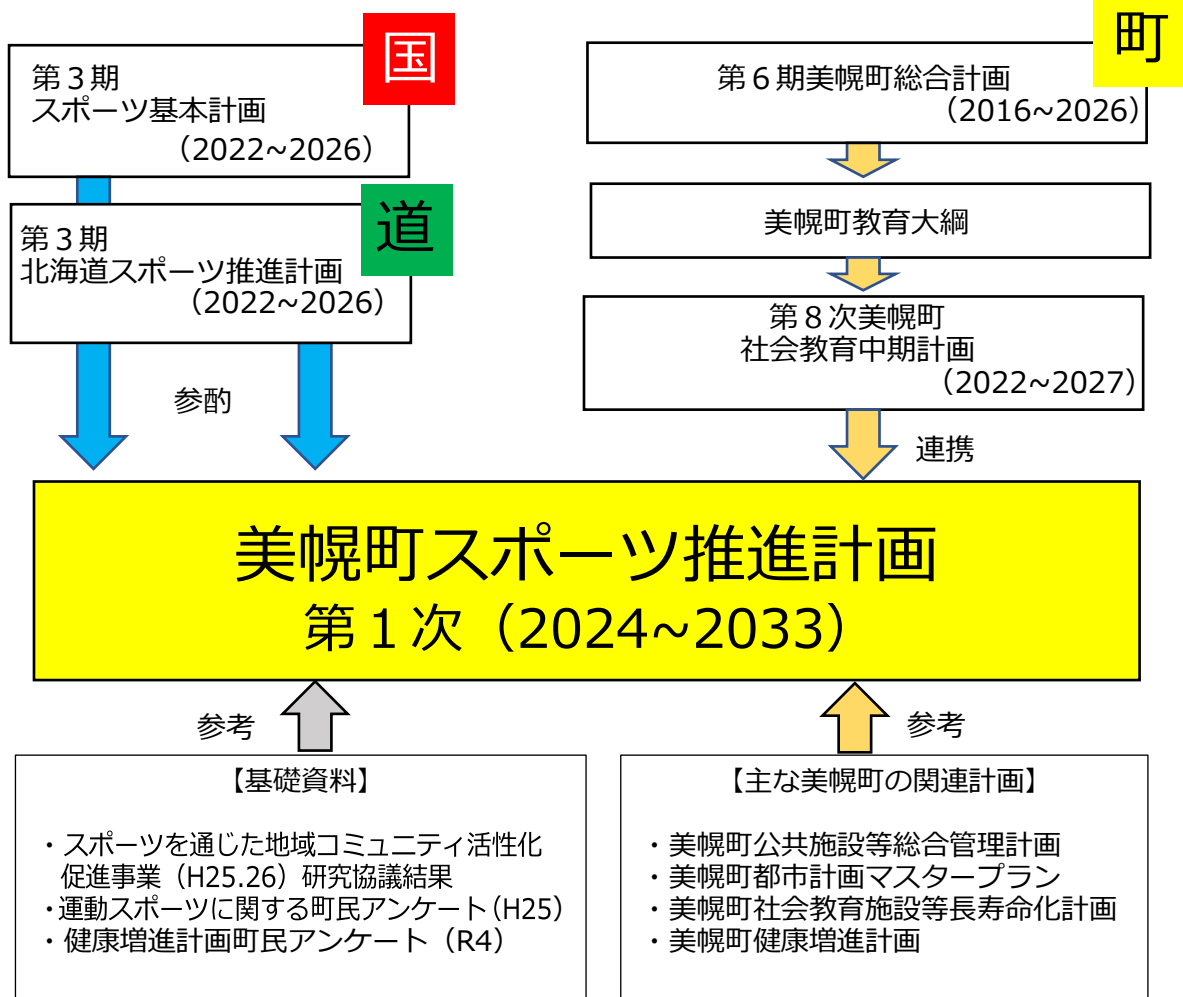
○美幌町総合計画(第6期：2016～2026)

スポーツの振興・・・(1)生涯スポーツの振興 (2)スポーツ推進計画の策定

本町が目指すべきスポーツ振興の方向性を明確にすべく、地域住民の参画による計画を策定します。

○美幌町社会教育中期計画(第8次：2022～2027)

学習環境の充実(学習支援体制)・・・美幌町スポーツ推進計画の策定



(2) 計画の期間

令和6年度から令和15年度までの10年間を計画期間とし、期別を設け都度見直しを行います。

なお、期間内であっても、新たに盛り込むべき事項が生じた場合などには、必要に応じて計画を見直します。

計画策定の期間及び策定スケジュール																	
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	
計画策定		(第1次) 美幌町スポーツ推進計画										(第2次) 美幌町スポーツ推進計画					
		前期					後期					前期					
第6期美幌町総合計画 (11年)					第7期美幌町総合計画 (12年・予定)												
中期	後期				前期				中期				後期				
第8次美幌町社会教育 中期計画（6年）						第9次美幌町社会教育 中期計画（6年）						第10次美幌町社会教育 中期計画（6年）					

<参 考>

(第1次) 美幌町スポーツ推進計画 (令和6年度から令和15年度まで)

前期：令和6年度から令和10年度まで

後期：令和11年度から令和15年度まで 【第9次美幌町社会教育中期計画まで】

(第2次) 美幌町スポーツ推進計画 (令和16年度～)

Ⅱ

計画の基本的な考え方

1 スポーツ推進のための基本理念

スポーツは、子どもから高齢者にいたる幅広い年齢層が多様なレクリエーションにより交流することが可能であり、交流することにより地域コミュニティの活性化が図られます。こうした活動を継続するためには、スポーツ関係団体や学校及び地域と連携・協力しながら、地域全体でリーダーや指導者等の人材育成が求められています。

また、スポーツを通じて、心身の成長と活力を促し、健康増進や子ども達の体力向上と個性を伸ばし、トップレベルの選手として活躍できる人材を育成するためには、地域特性に合わせた環境の整備、そして利用者が安全かつ快適に活動できるよう、老朽化した施設の改修等を計画的に進める必要があります。

さらには、美幌町の強みである、以前から行ってきたオリンピック等トップアスリートとの交流を通じて、夢と希望を持てるような環境づくりを目指します。

このようなことから、美幌町スポーツ推進計画の基本理念を次のように定めます。

スポーツで誰もが笑顔で元気に輝ける ふるさと美幌町

誰もが	…	人種や性別、障がいの有無にかかわらず
笑顔で	…	心身の成長や活力を促し、仲間とのつながりを
元気に輝ける	…	一人一人に合った健康増進やスポーツでの活躍を
ふるさと美幌町	…	スポーツを通じて我が町の発展とふるさとを大切に思う 心を育む

2 スポーツ推進の基本目標と方針

基本理念である「スポーツで誰もが笑顔で元気に輝ける ふるさと美幌町」の実現に向け、スポーツ推進計画策定委員による協議や、町内スポーツ関係団体に対して行ったアンケート調査の結果を踏まえ、3つの基本目標と6つの方針を設定します。

目標1 スポーツの可能性を 探求する！

スポーツは私たち一人一人の生活をより豊かにしてくれるものです。

友人と一緒にスポーツを楽しんだり、個人の限界に挑戦する意欲や達成感を感じたり、定期的な運動をすることで健康な体を保ち、生き生きとした心で満たされた生活を送ることができます。

さらに、美幌町にはたくさんのアスリートが既に存在し、今まさに才能を開花させ、世界に挑戦しようとする若きアスリートも存在します。こういった夢を追求し、努力と情熱をもって目標を追い求めることもできます。

このようにスポーツは年齢層や能力に関わらず、全ての人たちの人生に輝きを与えてくれるものです。町民一人一人が自身に合ったスポーツの形を見つけ、「探求」できるような取組を推進していきます。

方針 1	ライフステージ・ライフサイクルに応じたスポーツをする機会の充実
	「する」・「みる」・「ささえる」といった多様な形でのスポーツ参画人口の拡大を図るとともに、全ての町民が生涯に渡り、自分なりのスポーツの形を探求し、あらゆる場面において、スポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

方針 2	スポーツ活動団体への支援・連携の強化
	地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制を整備するとともに、大学・地域指導者・他市町村との連携により、子どもたちの教育的交流機会の推進、育成指導体制の充実・強化を目指します。

目標2 スポーツでもっと つながる！

スポーツは個人だけでなく、町民一人一人を結び、心を通わせてくれるものです。

スポーツは年齢や性別、能力に関係なく誰もが楽しむことの出来る活動の場であり、子どもから大人、シニアまで、誰もが同じ場に参加し新しい交流を生む機会を提供します。

さらにスポーツイベントやクラブ活動への参加は、スポーツという共通の興味、目的を持つ人々を繋ぎ、新しい関係性を生み出します。

このようにスポーツを通じて、これまでの「つながり」をより強固なものにするとともに、

新たな「つながり」を見つけられるような取組を推進します。

方針 3	コミュニティの活性化・創造につながる施策の取り組み
	スポーツを通じた交流などにより地域の活性化を図るとともに、町民それぞれが自主的・積極的にスポーツに参画でき、互いにささえあうことができる社会の実現を目指します。

方針 4	スポーツに関する情報発信
	各関係機関や団体・指導者との情報共有及び発信、SNS やホームページを活用した施設の利用状況や各教室などの情報発信、スポーツに関わる町民の活躍の発信を行い、町内外における情報交流と活動協力を促進します。

目標3 スポーツと **共に生きる！**

スポーツは、多様な主体に向けた機会を設けることができます。

障がいの有無やジェンダー、経済的背景に関係なく、全ての町民が分け隔てなくスポーツの楽しさや言語の壁を越えて、多様な立場を尊重する場をつくりだすことができます。

美幌町ではオリンピック・パラリンピックに出場したアスリートを多数輩出し、町民に夢と感動を与え、美幌町の次代を担う子ども達に未来への希望を与えてくれています。

美幌町の特性を活かし、スポーツを通じて健康で充実した生活の構築と魅力的な個性や地域づくりの育成を推進するとともに、スポーツと「共に生きる」持続可能な社会の実現を目指します。

方針 5	地域資源を活かした持続可能なスポーツ環境の充実
	スポーツ施設を有効活用し、関係団体・地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室を開催することで、美幌町の持続的なスポーツ環境の整備に努めるとともに、アスリート等の地域人材を活用した魅力ある地域づくりを進めます。

方針 6	今後の社会状況を見据えたスポーツの推進
	障がいの有無やジェンダー、経済的背景に関わらず、誰もが安心してスポーツに取り組むことができる環境整備を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現を目指します。

III

美幌町のスポーツ推進を取り巻く課題

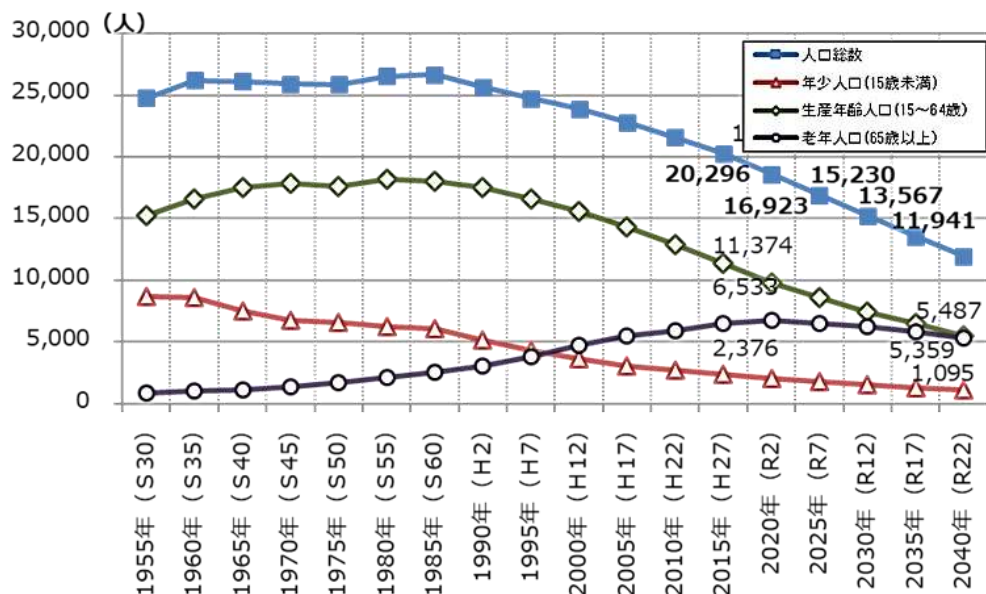
1 美幌町の現状

(1) 町の人口状況と見通し

日本全体で見ても、人口減少社会に突入している昨今、地方においても人口減少が加速していくと見込まれています。日本の地域別将来統計人口調べでは、人口規模が小さい自治体ほど人口減少率が高くなる傾向が見られ、このまま進むと、2050年には現在人が住んでいる移住地域のうち6割以上の地域で人口が半分に減少するとされています。美幌町の人口は、1985年をピークに、それ以降は減少局面に入っており、今後も減り続けるとみられます。



人口の推移 2015年国勢調査（総務省統計局）



資料：人口の推移・将来人口の見通し（美幌人口ビジョン）

(2) 今後の美幌町の児童・生徒数

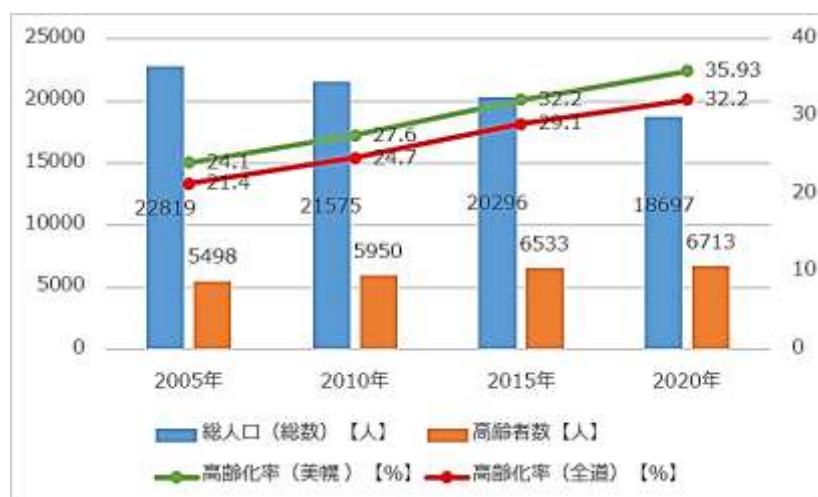
2020年度以降、美幌町内の各学校別に見ても、児童・生徒数は減少の傾向が見られます。2020年まで1,300人を維持していましたが、5年後の2025年には1,100人を下回る見込みとなっています。児童・生徒数の減少は、将来的なスポーツ人口の減少に繋がるため、地域の特性に合わせたスポーツ振興を図るなど、今後のスポーツ活動への持続可能な取り組みが必要となります。

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学校	美幌小学校	337人	313人	307人	281人	261人	246人
	東陽小学校	315人	305人	292人	272人	261人	231人
	旭小学校	218人	211人	197人	196人	188人	179人
	小計	870人	829人	796人	749人	710人	656人
中学校	美幌中学校	228人	211人	215人	212人	211人	205人
	北中学校	223人	229人	211人	237人	225人	232人
	小計	451人	440人	426人	449人	436人	437人
合計		1,321人	1,269人	1,222人	1,198人	1,146人	1,093人

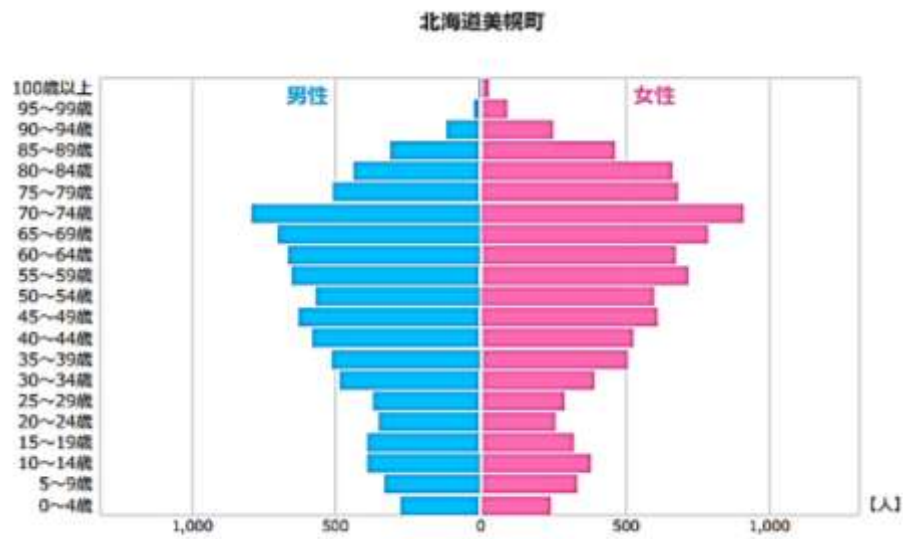
資料：美幌町教育委員会「学齢簿管理 2019年度 小学校就学予定者調」

(3) 高齢者人口の推移と高齢化率

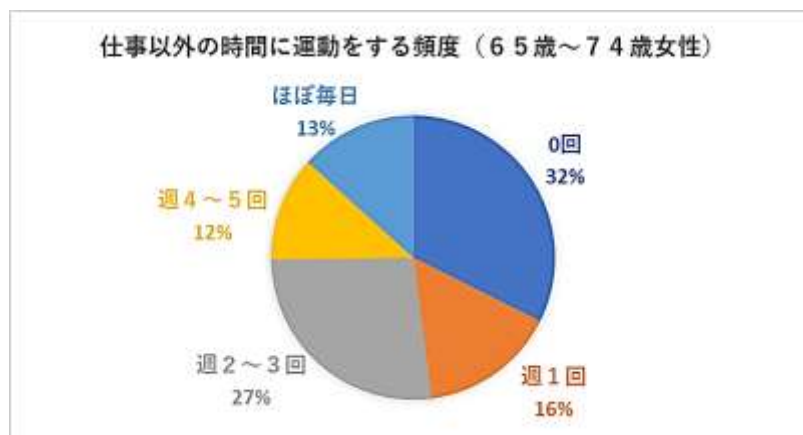
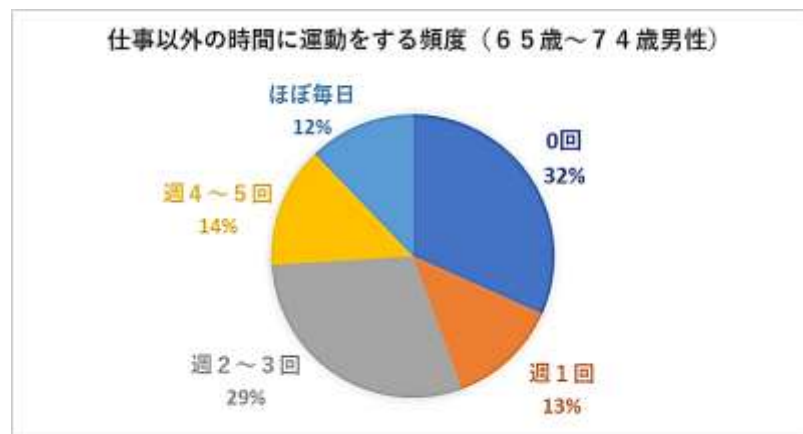
美幌町の総人口は、減少の一途をたどっていますが、65歳以上の高齢者人口は、増加し続けています。一方、65歳から74歳の男女に行った、運動をする頻度のアンケート結果から、男女の32%が「運動をしていない」と回答しており、美幌町の福祉・医療への負担増加が懸念されることから、高齢者が取組めるスポーツの拡充を図るとともに、健康を維持・促進していくためのスポーツ活動を展開していくことが求められます。



【1月1日現在 住民基本台帳】



【高齢者のスポーツ参加割合（仕事以外の時間に運動をする頻度）】



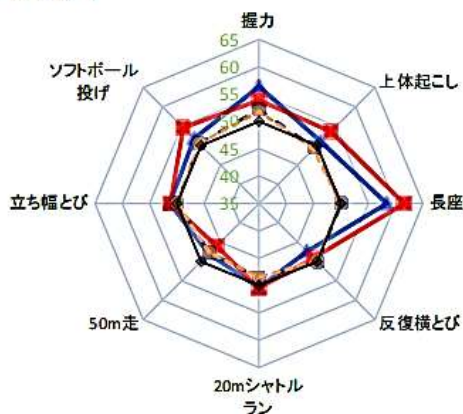
(4) 美幌町内小・中学校体力測定状況

子どもの体力・運動能力については、中学校・小学校ともに、全国・全道平均を上回る結果となっています。美幌町全体で見ると子どものスポーツ活動は盛んであり、様々な種目で全道・全国大会に出場する選手を輩出しており、今後の活躍も期待されます。このような状況を維持するためには、将来に向けたスポーツ環境の整備や運動習慣・能力の維持が必要です。

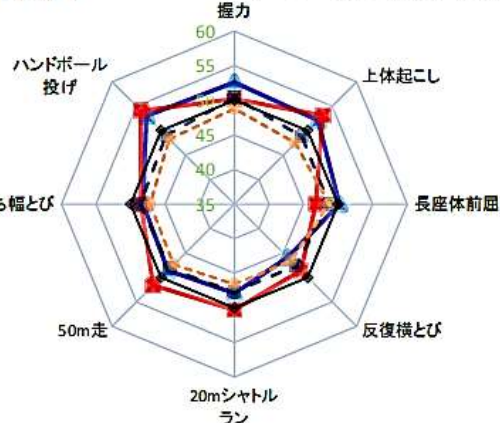
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

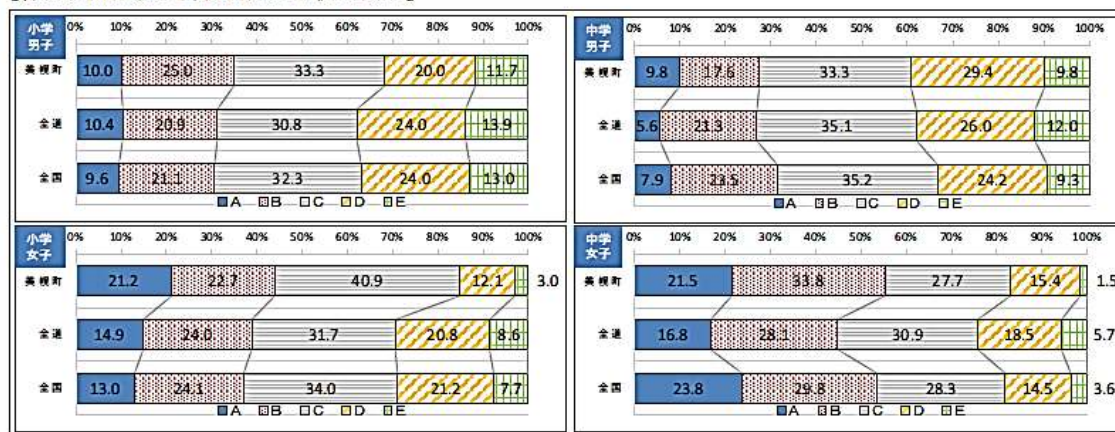
【小学校】



【中学校】



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



資料：令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」

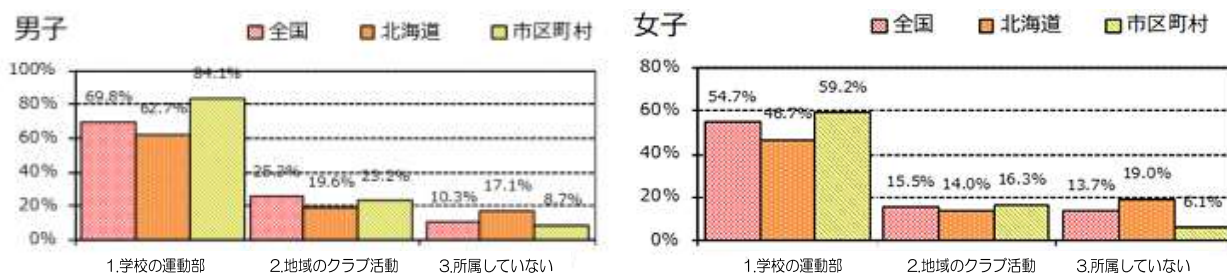
(5) 美幌町のスポーツ施設一覧

集い学ぶために必要な「場所」の整備は必要不可欠です。年数の経過やニーズの多様化に伴い、改修・修繕を実施しながら各施設の管理・運営を行っています。今後は、部活動における地域移行の取組や小中学校の再編などにより、スポーツ施設や公園等の有効活用を図るとともに、運動場の確保・スポーツ施設の充実に取り組む必要があります。

No.	施設名	建築年
1	美幌町スポーツセンター	S46
2	美幌町トレーニングセンター	S51
3	美幌町 B&G 海洋センター	H03
4	美幌町あさひ体育センター	S63
5	美幌町屋内多目的運動場「サニーセンター」	R02
屋外体育施設		
6	柏ヶ丘公園（陸上競技場・野球場・少年野球場・歩くスキーコース）	
7	あさひ公園多目的運動広場	H01
8	美幌町（いなみ）テニスコート	H01
9	美富公園テニスコート	S51
10	網走川河畔公園（パークゴルフ場・スケートリンク）	
11	美幌町ソフトボール場（旧美幌中学校グラウンド）	H30
12	美幌町リリー山スキー場	S40

(6) 学校の部活動・地域クラブ活動への参加率

美幌町の中学生を対象に行われたアンケートでは、学校の部活動・地域クラブ活動への参加率は、全国・全道よりも高い数値となっています。このことは、男女ともに運動への関心が高いことから、運動の機会を増やす取り組みを継続、実施率を維持することが必要です。



資料：令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」

2 美幌町の課題

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた地域社会の形成や人々の心身の健全な発達に必要な不可欠です。本町においては、子どもの体力・運動能力が全国平均を上回るなど、地域にスポーツが根付いています。このような状況を持続するためには、スポーツ環境の整備や運動習慣の維持が必要です。

スポーツの普及振興には関係団体等との連携が必要であり、スポーツに親しむ環境づくりが重要です。多様な主体がスポーツに参画することにより、地域コミュニティの活性化が図られます。

既存のスポーツ施設は、老朽化や耐震補強が必要なことからスポーツセンターアリーナの耐震改修を実施し、あわせて冬期間における健康保持増進と体力づくりのため、屋内多目的運動場を整備しましたが、今後はトレーニングセンターの耐震補強、経年劣化に応じた改修など、適切な維持管理が重要な課題となっています。

一方、各スポーツ団体では活発な活動が行われており、その結果として各競技会等において優秀な成績を収めております。しかしながら、人口減少に伴い、スポーツ少年団・部活動で活動する子どもは減少しており、スポーツに親しむ場の縮小が加速しています。さらには、活動を支える方の高齢化や指導者不足、部活動の地域移行についても課題であることから、指導者の育成と各団体の活動を支援していくことが最も必要となっています。

また、これまではトップチームによるスポーツ合宿が行われ、少年団等への直接指導など、競技力の向上と地域活性化が図られてきておりましたが、コロナ禍によりスポーツ合宿・スポーツ事業が縮小したため、受入体制等の再構築が課題となっています。

【美幌町の現状・課題と取組の対応表】	
現状・課題	取組
総合型地域スポーツクラブの事業展開	生涯スポーツの推進、指導者の育成活用
多種多様の団体があり活動が活発	地域コミュニティの活性化
スポーツ少年団活動が活発	全道・全国大会での活躍(東京オリ・パラ大会レガシーの継承)
団体活動の施設拡充	屋内多目的運動施設の整備により活動の活性化
冬季スポーツの普及振興	クロスカントリースキーコース整備充実
少子高齢化、人口減少への対応	子どもの活動の支援(未来のアスリート育成事業)、パークゴルフ場の整備充実
共生社会の実現	多様な主体によるスポーツの参画、障がい者スポーツの理解促進
スポーツ活動の支援、指導者育成支援	指導者資格取得のための助成
スポーツ大会、合宿の誘致	町民体育祭、スポーツ合宿事業補助金
子どものスポーツ実施の二極化と体力の低下	体力テスト、子どもの体力向上に向けた取り組み
【これからの社会情勢や地域課題を見据えて取組べき視点】	
持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取り組みの推進	
運動部活動の地域移行に関する検討	

IV

課題解決に向けた目標・施策

1 施策体系

基本 理念	スポーツで誰もが笑顔で元気に輝けるふるさと美幌町
----------	---------------------------------



3つの目標		施策	
目標1	スポーツの可能性を 探求する！	1	子ども、若者のスポーツ機会の充実と体力の向上
		2	町民のスポーツ実施率の向上
		3	競技力向上を支える体制の構築
		4	スポーツに対するモチベーションの向上
目標2	スポーツでもっと つながる！	1	住民だれもがスポーツに親しめる「場づくり」の実現
		2	スポーツを通じた地域コミュニティの活性化
		3	多様な主体におけるスポーツの機会創出支援
		4	スポーツを通じた交流と協力の促進
目標3	スポーツと 共に生きる！	1	スポーツによる地方創生・まちづくり
		2	スポーツを通じた共生社会の実現
		3	オリパラ活動の知見を活かした教育活動の展開
		4	運動習慣の確立

基本理念は、（第1次）美幌町スポーツ振興計画の計画期間中である令和6年度から令和15年度までの長期的な理念として設定します。

基本理念の前期となる令和6年度から令和10年度までの5か年の目標として3つの目標を掲げ、それら目標を達成するための施策を展開します。

2 3つの目標と施策

目標 1 スポーツの可能性を探求する！

【KPI（重要業績評価指標）】

	R 5（実績）	R 10（目標値）
1人あたりの施設利用回数（年）	12.0回	12.6回
スポーツ施設利用者数	$\frac{217,931人}{17,526人}$	$\frac{\text{利用者数}}{\text{美幌町の人口}}$

施策 1：子ども、若者のスポーツ機会の充実と体力の向上

◆スポーツ参画人口の拡大

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でのスポーツ参画人口を拡大するための取組を行います。

◆スポーツ活動・イベントについての情報発信・後援

各種活動について情報発信や後援を行うことで、積極的な参加意欲の促進を図ります。

◆子育て世代のスポーツ実施率を向上させるための取組

スポーツ実施率が特に低いとされる子育て世代の声を参考に、対象者が参加したい、参加できる時期・時間帯を調整し、プログラムの充実を図ります。また、既存の教室の回数を増やすことで実施率増につなげます。

◆幼児児童が運動遊びやスポーツ活動に親しむことができる機会の充実

美幌町スポーツ協会加盟団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ(びほろスポーツクラブ Beet)等と連携することで、子どものスポーツ活動機会の充実を図ります。

【取組内容】

- ①情報発信：美幌町ホームページ、広報びほろ、地域新聞など
- ②後援：受付窓口、相談窓口、運営協力
- ③スポーツ教室・イベントの実施：町民体育祭（秋・冬）/キッズビートスポーツ教室
AKB スポーツチャレンジクラブ
町民体力測定会/水泳教室/スキー教室
スケート教室/サッカー教室

施策 2：町民のスポーツ実施率の向上

◆スポーツ体験の場の提供

関係団体と連携することで、町民のスポーツ体験の充実を図ります。

◆スポーツの理解促進と多様な主体による支援の拡大

スポーツを「する」「みる」「ささえる」への理解を深め、スポーツに対する支援の拡大を図ります。

◆誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の充実

スポーツ実施率を向上させるには、1年間に運動やスポーツをまったく行っていない人の割合を減らしていくことが必要となることから、町民が気軽に参加できるイベントを実施します。

【取組内容】

- ①スポーツ教室の実施：各種スポーツ教室の内容充実、ニーズに合った参加機会の提供
- ②全町民対象のスポーツ初心者向けイベントの開催：ラジオ体操/ウォーキングイベント
スポーツデー等

施策 3：競技力向上を支える体制の構築

◆スポーツ団体、競技者のスポーツによる活躍・経験の発信

活躍・経験を知ることで、スポーツへの理解を深め、応援・支援のしやすい環境づくりに取り組みます。

◆研修による地域指導者の育成とスキルアップへの支援

各団体の競技者、指導者、保護者からの最新の情報を広く町民に伝えます。

地域指導者の経験を次の世代へ伝える機会を創出し、指導者の育成につなげます。

◆スポーツにおける多様性や課題等の情報共有と理解促進

スポーツをする者が、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、親しむ機会を奪わないよう、情報共有の場を提供します。

◆スポーツをする人々の安全・安心の確保

アスリートに対する誹謗中傷・ハラスメントの防止、スポーツ事故・スポーツ傷害の防止を図るため指導者を育成するほか、育成に関する支援を行います。

◆**スポーツ環境充実のための財政的支援を強化**

美幌町スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブとさらなる連携強化を図り、スポーツ活動をする者が、本人の希望しない理由でスポーツから離れることがないよう、スポーツ活動を続けるための財政的支援を強化します。

【取組内容】

- ①研修会の実施：各種スポーツ指導者研修会、スポーツ講演会
- ②スポーツ交流会の開催
- ③指導者育成に関わる補助事業
- ④未来のアスリート応援事業

施策 4：スポーツに対するモチベーションの向上

◆**スポーツ人材を活用したスポーツ振興と推進の促進**

様々なレベルでのスポーツの普及や活動を支え、競技力向上や健康、コミュニケーションの向上をもたらすことを目指します。

【取組内容】

- ①オリンピックやパラリンピアン、スポーツチーム等と連携した、スポーツ体験機会の提供
- ②スポーツ交流会の開催

目標 2 スポーツでもっとつながる！

【KPI（重要業績評価指標）】

	R 5（実績）	R 10（目標値）
人口当たりの参加人数	0.141人	0.148人
スポーツイベント 参加人数（年間）	2,476人 17,526人	参加人数 美幌町の人口

施策 1：住民だれもがスポーツに親しめる「場づくり」の実現

◆高齢者が子ども達と一緒に取り組むことができる、スポーツ参加機会の充実

美幌町では高齢者の運動実施率が高く、ウォーキングをはじめパークゴルフや卓球が親しまれています。より元気なスポーツ活動のため、幼児や児童などとの世代を超えた交流機会を創出します。

◆幼児期、児童期における豊富な運動遊びの経験の増進

幼い頃の運動遊びの経験が、その後の青年期以降への運動やスポーツに親しむ資質や能力の向上に大きな影響を及ぼすことから、家庭や地域と連携を図り、幼児期、児童期から運動遊びに親しむ取組を推進します。

◆高齢者のスポーツ・健康づくりに関する活動の促進

高齢者が元気で健やかなスポーツ活動を送るために、美幌町スポーツ協会などと連携を図り、スポーツ大会・スポーツ事業の充実に努めます。

【取組内容】

- ①親子パークゴルフ体験会、初心者卓球教室、多世代交流スポーツチャレンジ
- ②スポーツ教室・イベントの実施：幼児体力測定会、幼児運動指導
- ③町民パークゴルフ大会、町民ハイキングの開催

施策2：スポーツを通じた地域コミュニティの活性化

◆多様なニーズに応じた活動機会の創出

参加主体・受入主体が生まれるよう、新しい活動機会を生み出す取組を行います。

◆オリンピックやトップアスリートとの交流、レベルの高いスポーツ観戦の場

アスリートとの交流の場、観戦の場を提供することで、スポーツへの興味・理解を深め、コミュニケーションを促進します。

【取組内容】

①スポーツ体験会の開催：ニュースポーツやゆるスポーツ等の新しい体験の場を提供

②スポーツイベントの開催：スポーツ講演会、スポーツ体験

施策3：多様な主体におけるスポーツの機会創出支援

◆大学・地域指導者・他市町村との連携による子どもたちの教育的交流機会の推進、育成指導体制の充実・強化

関係団体と連携し、スポーツ合宿を誘致し、市民のスポーツ意識の向上を図るとともに、スポーツクリニックや体験会等を積極的に開催し、スポーツの理解促進と多様な主体による支援の拡大を図ります。また、大学、他市町村とも連携を強化し、リモートスポーツの導入を通じた新しいスポーツ体験の提供や指導者の育成を図ります。

【取組内容】

①スポーツ合宿事業

②大学、関係機関との連携によるスポーツ体験会の開催

施策 4：スポーツを通じた交流と協力体制の促進

◆ホームページや SNS を活用した施設の情報や利用状況の発信

各施設の最新情報を周知することで、利用の促進を図り、交流の場を設けます。

◆ホームページや SNS を活用したスポーツ教室、スポーツイベントの情報の共有

より速く、わかりやすい周知により、参加者の拡大、施設利用者の拡大を図ります。

◆スポーツに関する指導者やボランティア等の人材育成

ニーズや課題を把握するとともに、スポーツ活動の指導者やイベントへのボランティア参加意識の醸成を図ります。

【取組内容】

- ①ホームページのスポーツ欄の充実
- ②各種大会運営協力
- ③少年団活動・部活動・クラブ活動の情報発信、支援

目標 3 スポーツと共に生きる！

【KPI（重要業績評価指標）】

	R 5（実績）	R 10（目標値）
人口当たりのスポーツ関係者数	0. 156人	0. 163人
スポーツ関係者数	$\frac{2,739人}{17,526人}$	$\frac{\text{参加人数}}{\text{美幌町の人口}}$

施策 1：スポーツによる地方創生・まちづくり

◆トップアスリート、企業、近隣大学等と連携したスポーツ活動やスポーツイベントの充実

スポーツイベントや大会を関係団体と連携し、定期的に行うことで、スポーツへの興味を喚起し、スポーツへの参加を促進します。

◆スポーツと健康のまち宣言

健康な生活習慣や地域社会の活性化、スポーツを通じた持続可能で包括的なスポーツと健康を推進するための宣言について、情報収集と分析を行います。

◆美幌町周辺の自然環境を活かした施設の整備、スポーツイベントの開催

スポーツに興味・関心を持ち、生涯続けることができるスポーツを見つけ、親しむことができるよう、施設を整備し地形や環境を活かしたスポーツ活動を促進します。

【取組内容】

- ①各種スポーツ大会、スポーツフェスティバル等の開催
- ②既存施設の魅力化・特色化
- ③スポーツ施設を活用したきっかけづくりの検討

施策 2：スポーツを通じた共生社会の実現

◆スポーツ施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入

多様性に配慮し、誰もが利用しやすい施設の充実を図ります。

◆トイレ、更衣室、ロッカーの充実

スポーツに親しむためには、身近にスポーツを行える施設、場所の確保が必要です。施設の改修・修繕を適切に行い、利用者の利便性や安全を考え、計画的に整備します。

【取組内容】

- ①計画的な施設の整備
- ②施設紹介・案内の充実

施策 3：オリパラ活動の知見を活かした教育活動の展開

◆冬季スポーツの施設・イベントの充実

美幌町は積雪・寒冷といった自然環境を基盤に、スキーやスケートなどのウィンタースポーツが盛んであり、学校授業でも取り組まれています。冬季オリンピック・パラリンピックにも美幌町出身の選手を輩出しており、これを発展・継続させていくためにウィンタースポーツ人口の拡大と、冬季スポーツ施設の充実に努めます。

◆スポーツ現場で生じた問題、スポーツの暴力等に関する相談窓口の開設

スポーツ活動をするすべての世代に、スポーツにおける課題について理解を深めても

らうことで、安心してスポーツに取り組める環境づくりを推進します。

◆**指導者・運営者や、総合型地域スポーツクラブを含めた活動の場の確保**

地域住民や学校と、活動の場を共有し、施設の効果的な利用を促進します。

また、活動の場を適切に管理し、場所の状態を維持、長期間にわたって利用できるように努めます。

【取組内容】

- ①誰もが参加できる環境の整備
- ②スポーツ人材を活用した教育活動の展開
- ③次世代アスリートの育成支援
- ④障がい者スポーツの体験などによる理解促進とニーズに応じた体験機会の検討

施策 4：運動習慣の確立

◆**医療機関等と連携した事業展開及び充実**

町民が生涯にわたって、日常的に安全にスポーツを楽しむことができるよう努めます。

◆**安心してスポーツに取り組むことのできる体制の構築**

スポーツによる健康効果、トレーニング方法などに関する知識を広めることで、安心安全なスポーツライフの実現につなげます。

◆**学校施設の利用促進**

既存の施設を活用し、活動の場を広げ、町民の運動機会を増やします。

【取組内容】

- ①日常のスポーツ場面で発生が予測される傷害・熱中症・AED の使い方の学習
- ②健康に関する教育やトレーニングプログラムの提供
- ③学校体育館等の開放



計画の推進

1 計画の進行管理

本計画は、美幌町をはじめ、町民・スポーツ関係団体・行政などが主体的なスポーツ活動を推進するとともに、多様な主体と連携を図りながら推進します。

計画期間を前期・後期に分け、各期終了時までに掲げた目標と KPI の達成具合、実態調査、検証などを行い、美幌町スポーツ推進計画策定委員会での協議の上、次期期別にかかる目標を掲げるとともに、その状況に即した施策を展開していきます。

2 計画の推進体制

本計画に掲げた各施策の推進のため、町民及びスポーツ団体、その他の関係者と相互に協力しながら推進することとします。

◆町民

町民誰もが自分の好みや得意なスポーツを見つけ、「する」「みる」「ささえる」という多種多様な形によりスポーツに関わることができます。スポーツを通じて関係性や地域コミュニティを育み、活気ある地域づくりを支えていく役割が期待されます。

◆スポーツ団体およびスポーツ推進委員、トレーニングルーム運営指導員

地域におけるスポーツ活動の活性化、さらなる充実を図るための重要な役割を果たす中心的な存在として様々な活動に携わります。普及活動、親睦活動を進め、スポーツイベントや大会の運営・補助、教室やクラブの支援などを行い、町民の健康や交流を促進する役割を担います。

◆スポーツ協会

地域のスポーツイベントや大会を推進し、関係団体との連携を強化することで、より町民が参加しやすい環境を整えます。スポーツ少年団やクラブ、協会加盟団体等の活動は町民のスポーツ活動の重要な機会となることから、情報提供や指導者育成支援・派遣などを行うこ

とで活動を支え、発展させるために重要な役割を果たしています。

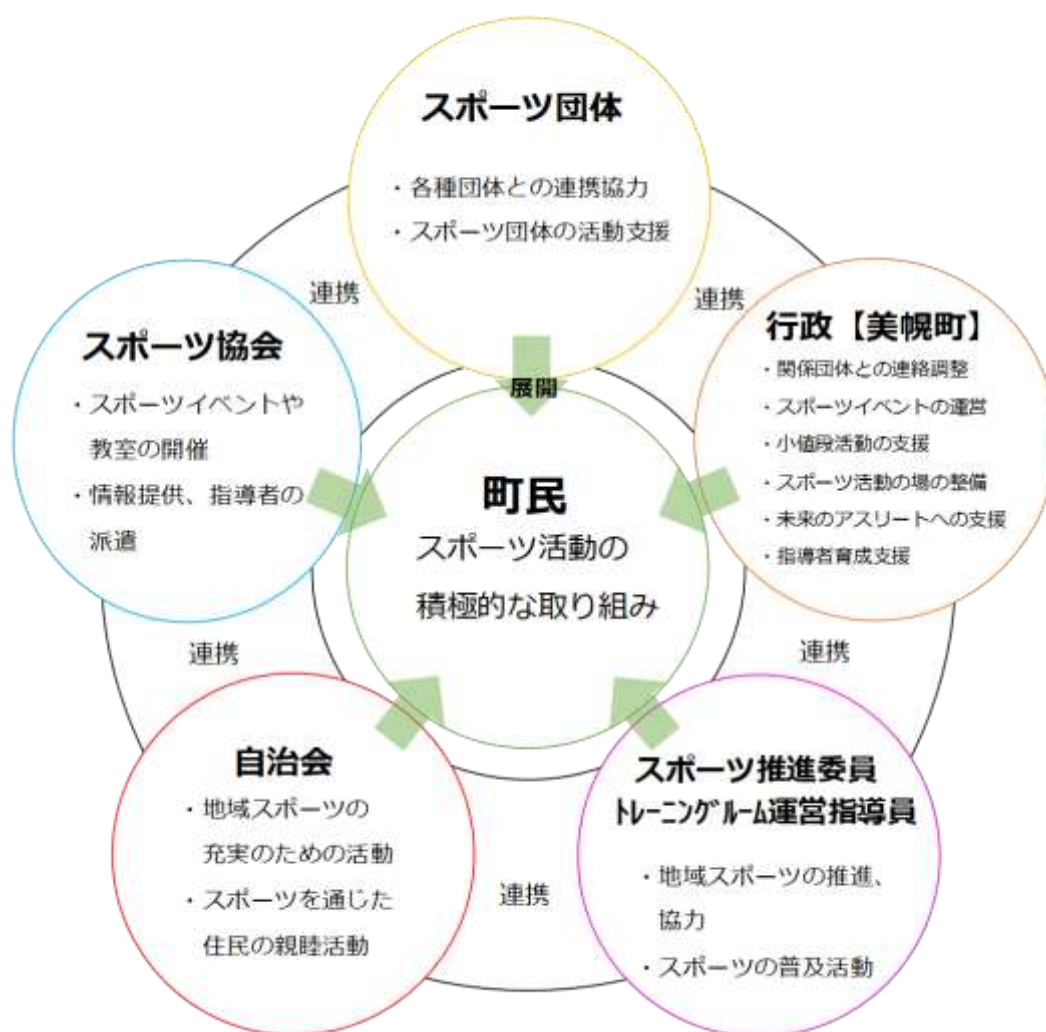
◆自治会

町が実施する大会や地域の行事への協力のみならず、スポーツ活動への参加を通じて、地域間で連携を図りながら、誰もが楽しめる機会を増やすなどの積極的な働きかけを行うことで、地域コミュニティの絆を深め、町民の生活の質を向上させる役割があります。

◆行政（美幌町）

美幌町は、町民やスポーツ関係団体、スポーツ推進委員等の地域の人材と堅密に連携し、その支援を取り入れながら、スポーツの広がりや地域の活性化を進めていきます。

地域や学校、関係団体との連絡調整を行い、スポーツ活動の場の確保に努めます。



3 SDG s を踏まえた計画の推進

SDG s について、国際連合は「スポーツは持続可能な開発における重要なカギとなるものである」とし、スポーツが様々な課題に取り組むうえで必要不可欠なものとしています。

このことを念頭に置き、スポーツを通じて市民の健康促進を図り、生活習慣病の予防や精神的な健康の向上を支援するなど、持続可能な開発目標の達成を意識した施策の展開を行っていきます。また、すべての年齢層がスポーツに参加できる環境を目指すとともに、地域全体が協力して、イベントの開催・施設の整備・スポーツ教育プログラムの提供に取り組めます。

【該当となる項目】



目 標3:
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



目 標11:
都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



目 標5:
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



目 標17:
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/)

国際連合広報センターより)

令和5年度スポーツ少年団団員数

単位団 番 号	団 名	幼児		～小3		小4～小6		中学生		15歳以上		合計		指導者(更新)		指導者(新規)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	美幌ジュニア野球			1	1	7	2	0	0	0	0	8	3	4	0	0	0
2	美幌カスカトリスキー			1	0	3	4	4	7	4	2	12	13	7	1	0	0
3	美幌ｽﾍﾞｰﾄﾞｽｹｰﾄ			3	1	6	5	2	1	0	0	11	7	2	0	0	0
4	美幌UFOサッカー			16	2	30	2	0	0	0	0	46	4	4	0	0	0
5	美幌水泳	1	1	3	11	5	16	3	2	0	0	12	30	4	8	1	0
6	大東流合気武道美幌			2	0	2	1	1	4	1	0	6	5	2	1	0	0
7	美幌ミニバスケットボール			10	8	9	11	0	0	0	0	19	19	2	0	0	0
8	旭ベースボール			2	1	15	1	0	0	0	0	17	2	4	0	0	0
9	美幌ラグビー	8	3	7	3	8	1	6	0	0	0	29	7	3	0	0	0
10	美幌剣道			5	2	2	4	0	0	0	0	7	6	3	0	0	0
11	美幌陸上	6	2	20	13	18	21	0	1	0	0	44	37	3	1	0	1
12	美幌銃剣道			1	1	1	1	2	0	3	0	7	2	4	0	0	0
13	美幌ソフトテニス			0	2	1	3	0	0	0	0	1	5	1	3	0	0
14	美幌ジュニアアルペン			2	2	4	2	2	0	0	1	8	5	2	0	0	0
15	美幌旭バレーボール			1	7	2	13	0	0	0	0	3	20	2	1	0	1
16	美幌ジュニアペタンク	0	0	2	1	0	2	2	0	0	0	4	3	3	0	0	0
17	美幌柔道・相撲			3	0	6	2	3	0	0	0	12	2	3	0	0	0
計		15	6	79	55	119	91	25	15	8	3	246	170	53	15	1	2
		21		344				40		11		416		71			

令和5年度美幌町スポーツ協会加盟団体

	団体名		団体名
1	美幌町バレーボール協会	13	美幌剣道連盟
2	美幌町ソフトボール協会	14	全日本銃剣道連盟美幌支部
3	美幌町陸上競技協会	15	美幌スキー連盟
4	美幌バスケットボール連盟	16	美幌卓球連盟
5	美幌町相撲連盟	17	美幌町ラグビーフットボール協会
6	美幌町サッカー協会	18	美幌町パークゴルフ協会
7	美幌柔道協会	19	びほろスポーツクラブBeet
8	美幌町ペタンク協会	20	美幌町ミニバレー協会
9	美幌スケート協会	21	美幌町野球連盟
10	美幌サイクリング協会	22	美幌町ソフトテニス協会
11	美幌町バドミントン協会	23	美幌水泳協会
12	美幌テニス協会	24	美幌町スポーツ少年団本部

【令和４年度 全国体力・運動能力調査の結果】

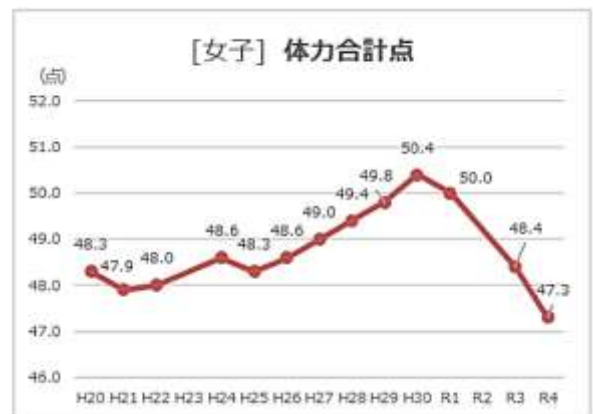
体力合計点の状況、体力合計点については、令和元年度調査から連続して小・中学校の男女ともに低下しています。

(小学校)



(出典：スポーツ庁)

(中学校)



(出典：スポーツ庁)

団体アンケート結果

調査期間：令和4年11月15日～12月15日

調査数：町内スポーツ関係団体 80件（内回答数:53件/回答率:66%）

1. 貴団体の活動状況について

1) 活動年数



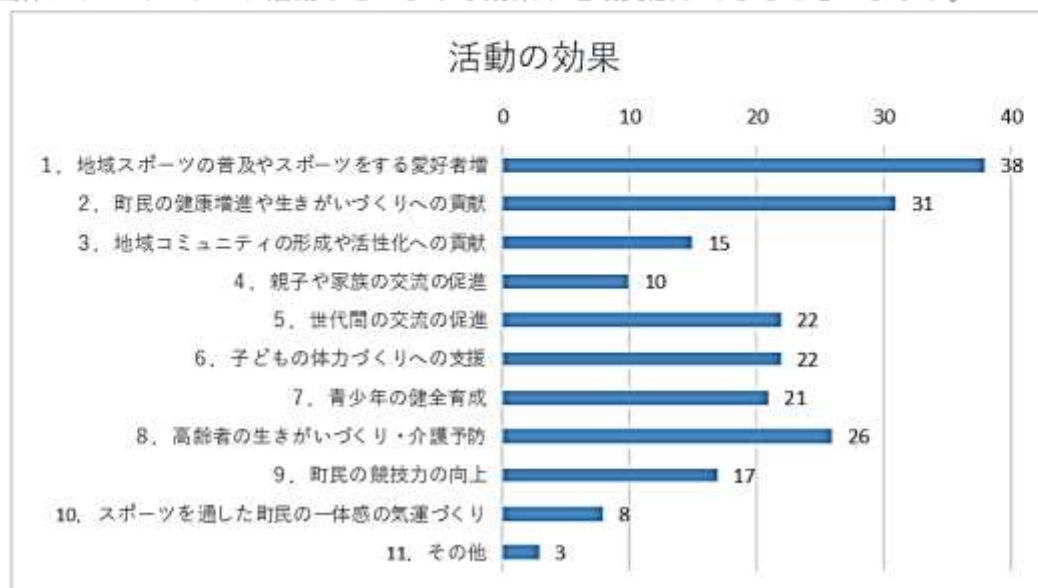
2) 活動頻度



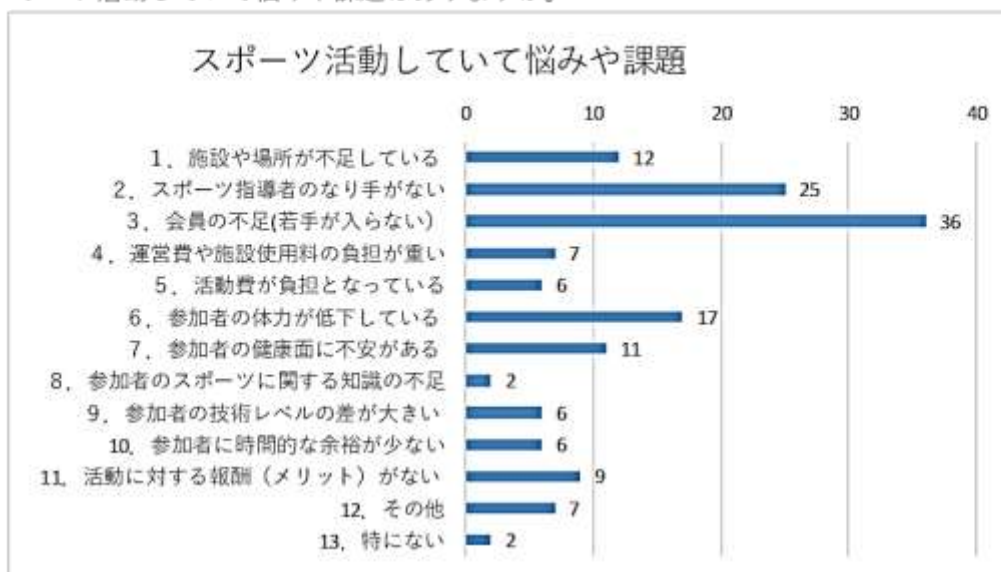
3) 団体の構成



2. 団体においてスポーツ活動がどのような効果や地域貢献ができると思いますか。

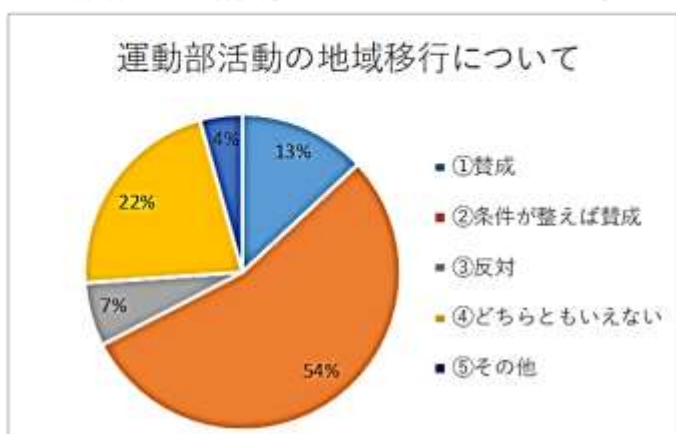


3. スポーツ活動していて悩みや課題はありますか。

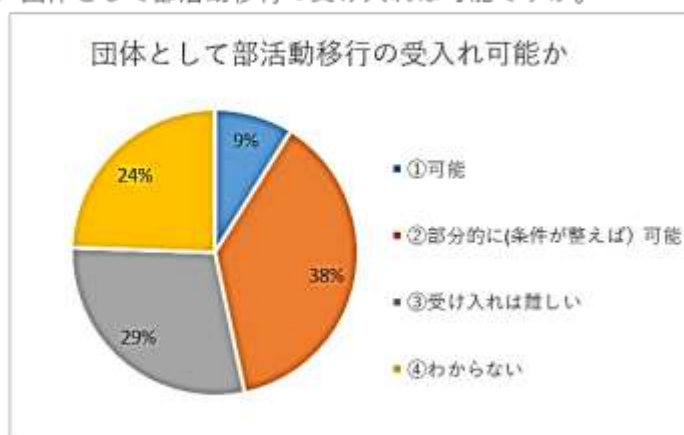


4. 令和5年度より運動部活動の地域移行について

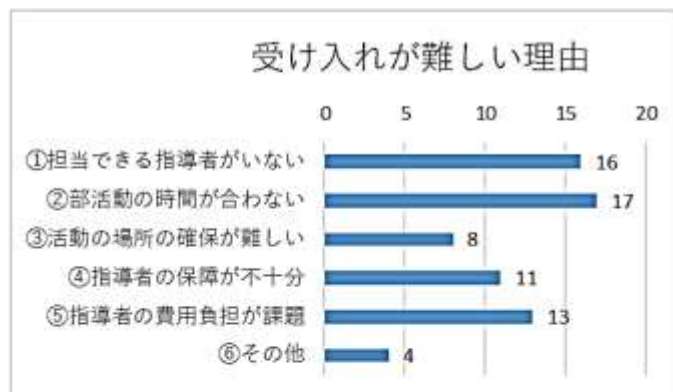
1) 運動部活動の地域移行についてよいと思いますか。



2) 団体として部活動移行の受け入れは可能ですか。



3) 受け入れの条件や難しいと思う理由や課題は何ですか。



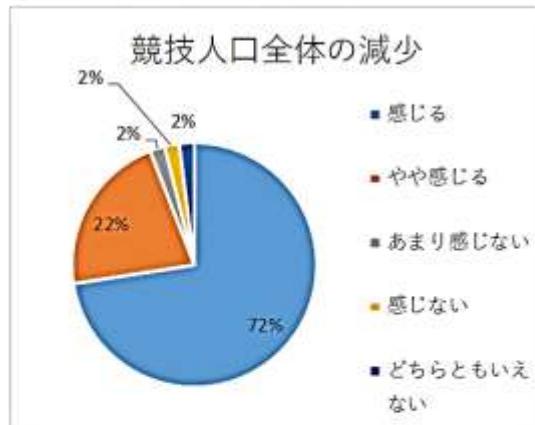
5. 団体の活動の活性化にあたって行政に期待することは何ですか。



6. ふだんの活動を通して、どのように感じていますか。

【競技人口について】

①競技人口全体が減少している



②小・中学生の競技人口が減少している



③高校生の競技人口が減少している



④一般（大学生、成人等）の競技人口が減少している



【競技力について】

⑤大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）



⑥選手強化を定期的に行える施設が少ない



⑦選手強化費が少ない



【町内のスポーツ施設について】

⑧日常的に利用できる施設が少ない



⑨施設設備が充実していない

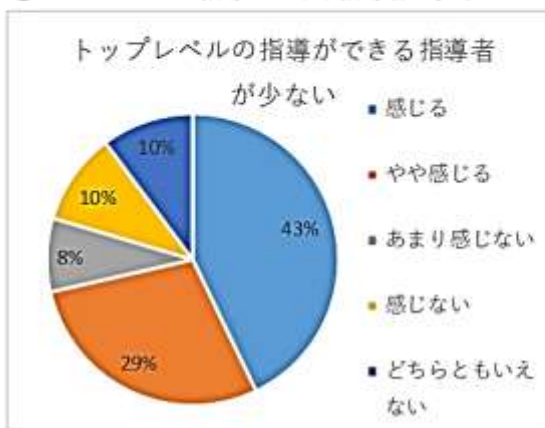


【指導者等について】

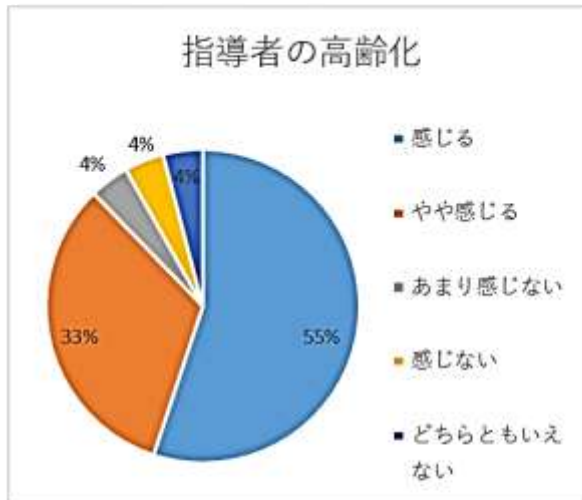
⑩指導者そのものが少ない



⑪トップレベルの指導ができる指導者が少ない



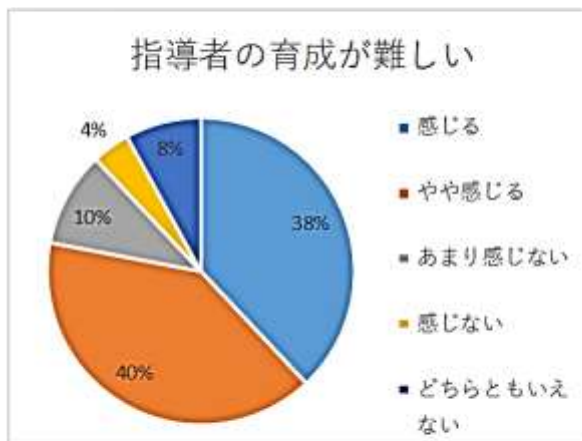
⑫指導者が高齢化している



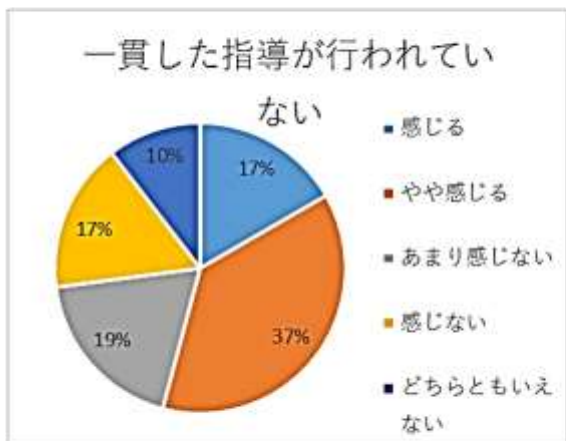
⑬指導者がうまく活用されていない



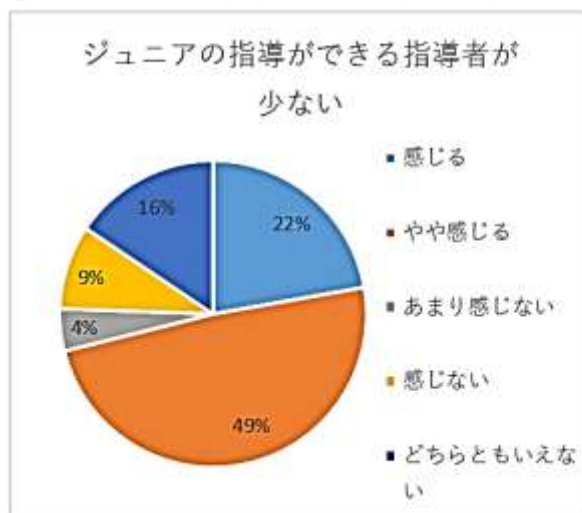
⑭指導者の育成が難しい



⑮一貫した指導が行われていない



⑯ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない



⑰審判員が少ない



美幌町スポーツ推進計画策定委員用事前アンケート調査結果

【回答数：8名】

スポーツの振興

(1)生涯スポーツの振興

①スポーツ振興の充実

- ・ スポーツ関係団体との連携による教室等の開催
- ・ 誰もが楽しめるスポーツ環境の充実

②スポーツ推進計画の策定

③体力向上の取り組み

- ・ 成人の運動実施率の向上
- ・ 子どもの体力向上のための運動機会の提供と指導充実

(課題等意見)

- ・ 公園を充実させ、公園とスポーツ施設の融合
- ・ 生涯スポーツを考えると、体力的に負担が少なく、用具が軽易などが考えられます☑
- ・ ペタンクや重力を使うスキーなど体力的に負担が少ないが用具が高価があるので用具を貸し出せるように充実させる。
- ・ ソフトが不足していると思う
- ・ 高齢者等のプログラム(生きがいづくり)が不十分と感じる
- ・ 成人向けのプログラムの充実
- ・ スポーツへの興味を持ってもらうため広告で各団体活動報告
- ・ 学校対象にアンケートも取るべき
- ・ 各種の新スポーツや、気軽に誰でも取り組めるスポーツの情報提供・普及活動があまり推進されていない
- ・ レクリエーションのようなスポーツイベントの充実
- ・ 少年団等から中学校へ行ってもやりたいスポーツ、部活動の人数が少なく、限られている環境が良くない。特に団体競技
- ・ 生涯スポーツとして長く楽しめる環境の充実
- ・ 子供たちの体力向上及び好奇心を伸ばす環境の充実
- ・ 「スポーツの町」宣言の実施
- ・ 各地のスポーツ振興策の調査

(2)スポーツ施設の整備、活用

- ①既存施設の耐震化
- ②屋内多目的運動場の整備
- ③クロスカントリーコース整備
- ④既存施設の維持及び更新

(課題等意見)

- ・スポーツ施設が分散し、使用者は車がないと行けない（高齢者も含めた移動手段の確保）
- ・施設にある各種器具の更新
- ・スキー場（ロッジも含む）の夏場活用（ビルラボ等）
- ・今後の少子化による学校統合時の廃校施設の有効活用の検討
- ・プールの温水化による全シーズン使用検討
- ・スケートリンクを廃校グラウンドに作成統合した利用
- ・ハードはある程度整備されていると思う。（欲を言えばきりがなし）
- ・ソフトをいかに充実させ、PRをどのようにするか
- ・サニーセンター、室内でもできるスポーツの推進
- ・センター（トレセン・コミセン）の使用活用方法は考えるべき
- ・管理棟、トレーニングルームの老朽化
- ・陸上競技場のトラック整備（ゴムトラック）
- ・競技場内に簡単な運動につながる器具の設置
- ・野球場のトイレが小さく利便性が悪い。
- ・時代に沿う施設が少ないため環境の整備
- ・施設の環境衛生に乏しいため、安心して施設を使用することに不安
- ・各スポーツ施設が分散されているため施設管理の不備が多い
- ・スポーツ施設のロッカー、シャワー室の充実

(3)スポーツ活動の促進

①指導者の確保、育成、研修機会の充実

- ・研修等を通じ指導者間の連携と次世代の指導者育成を図る

②競技スポーツの技術力向上

- ・地元出身アスリートによる指導を通じ意欲と技術向上につなげる

③スポーツ合宿の誘致促進

- ・関係団体と連携し合宿誘致活動と合宿の充実促進を図る

(課題等)

- ・指導者になった人への強化・資金提供
- ・優秀選手が地元に残るような、学校（高校）への依頼及び学校での指導者の招致
- ・廃校施設を宿泊施設にして、合宿誘致
- ・経験者でも指導者としてのステージに上がってくれない。
- ・少年団OB、OGが町内に帰ってきてても指導者になってくれない。
- ・町内に働き口が不足している（美幌に魅力がないのか？帰ってこない）
- ・各スポーツ団体活動の地元への伝達
- ・美幌町出身の優秀な選手や将来指導者を目指す若者に、美幌町独自の奨励金制度等を設けて、卒業後に地元に戻って就職、そして指導者となってもらえるような体制がほしい。
- ・ゴムトラックによる競技力向上など
- ・仕事との両立が難しく若いスポーツ経験者が指導者になりにくい。
- ・団体競技、野球やサッカー等の競技人数が減っていて、今後指導者の前にそのスポーツ自体を守っていくのが難しいのではないか。
- ・各スポーツの人口をどう確保していくのか
- ・全国、道連主催大会出場に向けての技術及びメンタルの向上
- ・小中高の好成績に向けての指導者充実
- ・美幌町民が多く参加しやすい団体の改革

(4)その他、スポーツ施策全般で課題等をご記入ください。

- ・スポーツ推進委員の役割の充実
- ・総合型スポーツクラブの法人化・自立化
- ・町からの情報提供、発信について十分ではない。
- ・各スポーツ団体からの情報提供、発信について十分ではない
- ・地元高校への入学者の激減、地元高校への入学者へのさらなる支援の強化
- ・子どもの体力低下が及ぼす影響に対する認識の不足
- ・各少年団が抱えている課題や要望(金銭面も含めて)等の意見を現在の指導者や保護者の方々から聞いてみる
- ・美幌町のスポーツを通じ一体化できるような施設を一カ所に集中させて各スポーツ団体との協力・刺激しあい、体力向上及び個人の感性の向上を図る。
- ・プロスポーツの試合の誘致
- ・民間スポーツジムの誘致
- ・中学校・高校のスポーツクラブ活動の人数の把握
- ・各スポーツ団体の指導者・審判等の資格者の把握

美幌町スポーツ推進計画策定の流れ

日時	項目	内容
(2022年) 令和4年5月9日	スポーツ推進委員会・トレーニングルーム運営指導員会へ依頼	美幌町のスポーツ振興に向けた推進計画の策定について依頼
9月28日	教育委員会定例会	美幌町スポーツ推進計画策定に関する策定委員会の設置要綱議案承認
10月1日	策定委員の依頼・募集	策定委員を関係団体へ選出依頼及び一般公募の募集
11月7日	第1回美幌町スポーツ推進計画策定委員会	○美幌町スポーツ推進計画策定の趣旨説明 ○計画の位置づけ ○今後の進め方
12月	策定部会の開催	○策定委員事前意見集約 ○関係団体アンケート調査の実施
1月	策定部会の開催	○アンケート調査の集計、結果分析 ○テーマごとの協議
2月	策定部会の開催	○基本目標の選定
(2023年) 令和5年5月	策定部会の開催	・各部会の協議結果より計画内容の精査 ○基本理念(基本目標)の設定 ・基本目標を基に具体的方策の検討
11月30日	スポーツ推進計画研修会	・北見工業大学より中里浩介講師を招聘
(2024年) 令和6年1月	第2回スポーツ推進計画策定委員会	第2回スポーツ推進計画策定委員会 ・計画案の提示と内容精査
4月	計画(案)の承認	・教育委員会への説明 教育委員会議へ提案、同意後、計画(案)としてパブリックコメント(意見公募手続き)を経て計画の成立 印刷・製本作業
5月	スポーツ推進計画完成	教育委員会定例会 スポーツ推進計画決定の報告

美幌町スポーツ推進計画策定委員名簿

No.	委員氏名	団体名
1	伊藤 善啓	美幌町スポーツ協会
2	堀江 久光	美幌町スポーツ協会
3	佐藤 章平	美幌町スポーツ協会
4	野田 稔浩	美幌町スポーツ協会
5	松場 恭子	美幌町スポーツ協会
6	柏葉 良一	美幌町スポーツ少年団本部
7	白尾 聡	美幌町スポーツ少年団本部
8	茂手木敏夫	美幌町スポーツ推進委員会
9	今井 紀幸	美幌町スポーツ推進委員会
10	尾形 美幸	美幌町スポーツ推進委員会
11	吉田 孝一	美幌町トレーニングルーム運営指導員会
12	山田 銀次	美幌町トレーニングルーム運営指導員会
13	山本 照良	美幌町自治会連合会体育部会
14	村田 純一	美幌町自治会連合会体育部会
15	久保 恒造	一般公募

[教育委員会事務局]

No.	委員氏名	団体名
1	矢萩 浩	美幌町教育委員会
2	遠藤 明	美幌町教育委員会
3	弓山 俊	美幌町教育委員会スポーツ振興課
4	太田 祥子	美幌町教育委員会スポーツ振興課
5	庭本 和義	美幌町教育委員会スポーツ振興課
6	中沢 浩喜	美幌町教育委員会スポーツ振興課
7	加藤 悟	美幌町教育委員会スポーツ振興課
8	吉田 沙織	美幌町教育委員会スポーツ振興課

美幌町スポーツ推進計画策定委員部会構成

【第1部会】

No.	委員氏名	団体名
1	伊藤 善啓	美幌町スポーツ協会
2	野田 稔浩	美幌町スポーツ協会
3	白尾 聡	美幌町スポーツ少年団本部
4	尾形 美幸	美幌町スポーツ推進委員会
5	吉田 孝一	美幌町トレーニングルーム運営指導員会
6	遠藤 明	美幌町教育委員会
7	加藤 悟	美幌町教育委員会スポーツ振興課
8	中沢 浩喜	美幌町教育委員会スポーツ振興課

【第2部会】

No.	委員氏名	団体名
1	堀江 久光	美幌町スポーツ協会
2	松場 恭子	美幌町スポーツ協会
3	柏葉 良一	美幌町スポーツ少年団本部
4	茂手木敏夫	美幌町スポーツ推進委員会
5	村田 純一	美幌町自治会連合会体育部会
6	庭本 和義	美幌町教育委員会スポーツ振興課
7	吉田 沙織	美幌町教育委員会スポーツ振興課

【第3部会】

No.	委員氏名	団体名
1	佐藤 章平	美幌町スポーツ協会
2	今井 紀幸	美幌町スポーツ推進委員会
3	山田 銀次	美幌町トレーニングルーム運営指導員会
4	山本 照良	美幌町自治会連合会体育部会
5	久保 恒造	一般公募
6	弓山 俊	美幌町教育委員会スポーツ振興課
7	太田 祥子	美幌町教育委員会スポーツ振興課

美幌町スポーツ推進計画

令和 6 年 5 月 発行

美幌町教育委員会スポーツ振興課